

## 1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和2年10月22日

## 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	5670600172
法人名	有限会社 ふれあい
事業所名	グループホーム ポンタ
所在地	鹿児島県阿久根市赤瀬川4295番地 (電話) 0996-73-4348
自己評価作成日	令和2年7月23日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.wam.go.jp/content/wamnet/pcpub/top/">http://www.wam.go.jp/content/wamnet/pcpub/top/</a>
-------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------

## 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	令和2年9月30日

## 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

家族会を行いご家族との信頼関係を築きご家族と共に入所者を支える環境づくりをしています。  
 “食の町阿久根”として季節の収穫物(ボントン、タケノコ、ツワ、梅、栗、すもも、キンカン等)や無農薬野菜を収穫し味わう楽しさがあります。  
 季節の行事に合わせた料理を提供し食の楽しさを感じてもらえるよう努力しています。

## 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・当事業所は、敷地内の広い畑で季節の野菜や花を栽培し、利用者の食材に活用し楽しんでいる。
- ・新型コロナウイルス感染症防止対策で地域との交流が困難な状況にあり、運営推進会議も書面開催となっている。委員と直接の意見交換は難しいが、代表及び管理者は、事業所への理解を深めてもらえるよう報告内容や委員の助言等の把握方法を工夫し、運営に取り入れている。
- ・地域サロンへの参加やボランティア・保育園児の受け入れ、事業所の避難訓練への住民参加等、地域との交流及び協力体制が築かれているが、新型コロナウイルス感染防止の為、様子を見ている。協力医療機関とも協力関係が築かれている。
- ・事業所内は職員間のコミュニケーションが良好で、利用者間も和やかな交流で運営している。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	申し送り時に理念を読み上げ理念に沿ったケアが出来る様に心掛けている。	理念は玄関に掲示し業務日誌に掲載している。朝の申し送りで唱和し、ミーティングなどで意見交換を行い振り返りをして、資質向上を目指している。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	面会制限や外出自粛もあり地域等との交流は出来ていないが、今の状況が落ち着けば地域との交流を図れるようにしたい。	コロナウイルス感染防止の為、現在は、地域行事や保育園児の来訪を見合わせている。事業所行事への住民参加も困難な状況である。地域との交流が可能な状況になれば取り組む。住民からの野菜等の差し入れ等はある。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	現在特に活動を行えていないが状況が落ち着けばホームとして出来ることをしていきたい。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	面会自粛もあり会議を開催せず資料を送り意見をもらうようにしており、状況に合わせた会議内容を検討していく必要があると思われる。	2ヶ月に1回、運営推進会議の資料を郵送し、ホームの現況を電話で報告し、委員の意見等を聞いている。資料内容や委員の意見の把握方法等を工夫し、取り組むように努めている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	運営推進会議や必用時は電話等で相談し意見をもらうようにしている。	市担当者とは、運営推進会議時の意見交換及び電話や出向いての相談で連携を図っている。担当者の来訪もあり、協力関係を築いている。行政主催の研修会に参加し情報を得ている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	ホームのカギは日中は開いており自由に出入りが出来る様になっている。内部研修で身体拘束について学び取り組んでいる。	指針を基に、委員会を開催している。研修会は年1回実施し、身体拘束についての理解を深めている。利用者に対し、言葉かけ等、優しい丁寧な支援をする意識を高めている。玄関の施錠はせず、外に出ていく利用者には一緒に散歩し、自由な生活を支援している。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	内部研修で虐待防止法等学び防止に努めている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	内部研修で学ぶ機会を持ち必要な方には制度の活用を支援している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>入所前、入所時に説明を行い十分に話をする時間をとれるようにしている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>面会時、家族会等で意見を聞いている。</p>	<p>利用者には、日常の会話のなかで要望を聞き、「家族と話したい」とのことで家族へ電話をかけて対話している。家族には、家族会や面会時等に要望等を聞きその都度対応していたが、最近は状況を報告書にして送付したり、電話で話しをしている。家族から他科受診の同行を依頼され、職員が対応している。</p>	
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>業務改善会議をしている。</p>	<p>代表者や管理者は、職員が意見を出しやすい雰囲気づくりに努めている。申送り時や業務の中で出された提案等はその都度反映させており、入浴の時間を変更したり業務の効率化と利用者の満足度アップを目指し検討している。個別相談は、代表者や管理者が受けて対応している。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>勤務希望を取り就業しやすい環境を整えている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>外部研修は現在受けられないので状況が落ち着けば研修を受ける機会を確保したい。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>現在同業者との交流はない。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	可能な場合は入所前にホームの見学や説明を行い思いを聞けるように努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入所前に面談を行い思いを聞くと共に信頼関係を築けるように努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入所前の関係者と連絡を取り意見をもらっている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	残存能力のある方がほかの方が手助けするのを見守っていくようにしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		<p>○本人と共に支え合う家族との関係</p> <p>職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>面会制限もありご家族が来れない時間が増えているが必用時はご家族に協力をお願いしている。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>面会制限もあり交流の機会が減っているが状況が落ち着けば面会等や外出で支援をしていきたい。</p>	<p>コロナウイルス感染防止の為、短時間の面会は実施しているが、家族自身が面会を自粛したりして、交流の機会が減少している。電話や手紙のやり取りを支援し、関係が途切れないように努めている。</p>	
21		<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	<p>入所者の方同士で声を掛け助け合えるような関係が作れるような支援に努めている。</p>		
22		<p>○関係を断ち切らない取り組み</p> <p>サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p>	<p>サービス終了後もご家族の相談等があれば相談や支援に努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	本人の思いを汲み取りながら申し送り等で職員で共有している。面会時にご家族に話を聞いている。	日常的に、ティータイム時に話しかけたり、側に寄り添い対応する等の工夫をして、本人の思いを聞き出せるような声掛けを行っている。困難な場合は、家族と話し合ったり、表情等で汲み取るように努めている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入所時のアセスメントにおいて本人、ご家族、担当ケアマネから情報収集を行っている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	勤務者で情報交換を行いながら意見を出し合い共有している。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人、ご家族、主治医からの意見を基にスタッフで評価し担当者が作成している。	日々のかかわりの中で把握した本人の希望及び手紙や電話・面接時に把握した家族の要望を基に、職員の意見を入れて介護計画を作成している。モニタリングは6ヶ月毎に実施し、計画を6ヶ月に1回及び状況変化時に見直して現状に即したものになっている。	



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	毎日日勤、夜勤帯で細かく記入しケアの実践や、プランに活かしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	主治医・他機関に相談しながら取り組んでいる。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	運営推進会議で区長、民生委員の方に助言提案をもらい、避難訓練で消防署の指導を受け近隣の方にも参加して頂き安心して生活できるよう支援している。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	希望があれば入所前のかかりつけ医に職員が同行し安心して医療を受けられるように支援している。	契約時に希望を聞いて、かかりつけ医の受診を支援している。定期受診は職員が同行し、緊急時を含めた24時間医療連携体制を築いている。歯科の往診を含め、適切な医療を受けられるように支援している。他科受診は家族にお願いすることもある。受診結果は家族へ報告している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>入所者の異常時はその都度看護師に報告し受診の支援をしている。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>かかりつけ医、医療連携室との連絡を取り合い関係作りに努めている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>入所時、プランの説明時、状態変化時にご家族から意向確認をしている。</p>	<p>契約時に重度化等の場合の対応について指針を基に説明し、意向確認書をもっている。重度化等の場合に、医師・家族・事業所の代表者で話し合い家族の意向を確認し、支援に取り組んでいる。今後、家族の看取り介護希望があれば取り組む予定である。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>施設内研修で消防署に依頼し応急処置、心肺蘇生の講習を受けている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>今年はまだ出来ていないが毎年消防署の指導を受け地域の方に参加してもらい避難訓練を行っている。</p>	<p>年2回、夜間想定での避難訓練を消防署及び近隣住民の参加を得て実施してきたが、コロナウイルス感染防止の為に、今年度は消防署の立ち合いは1回で、住民参加は予定していない。例年、近隣住民に文書での協力依頼及び区長の事前放送で周知を図っており、サイレンを設置している。地域の協力体制は築かれている。非常用の備蓄は、米・水・缶詰・レトルト食品・カップ麺等を確保している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	日々職員で話し合っている。	日常生活の中で尊厳とプライバシー保護に努め、言葉遣い等で配慮している。趣味や生活歴などを本人・家族から聞いて、コミュニケーションのできる環境を作るように努めている。研修を実施し、申し送り時は利用者に内容がわからないように配慮している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日常会話の中で声掛けを工夫したり思いが聞けるように努めている。		
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	希望が聞かれた時には勤務の職員で可能な限り支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	必用時はご家族の了解を得て好みを聞き衣類を購入しおしゃれを楽しんでもらっている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食べたい物を聞きメニューに取り入れ、食後歩ける方は台所まで自分のお膳を下膳してもらっている。	暮らしの中で食事の献立を利用者と話し合って作成している。下ごしらえや下膳等を一緒にしている。誕生会事の特別メニューやケーキ・季節の行事食・パイキング等で食事を楽しめるよう工夫している。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援  食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事、水分量を記録表に記入している。必要に応じ食形態を変更し提供している。		
42		○口腔内の清潔保持  口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後全員口腔ケアを行い、介助の必要な方は出来ないところを手伝っている。		
43	16	○排泄の自立支援  排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄チェック表を活用し出来るだけ失敗の無い様にトイレに促している。トイレ動作では出来る事をしてもらえるように見守り声掛けを行っている。	排泄チェック表でパターンを把握し、「トイレだけは最後まで自分で行きたい」との利用者の気持ちを大切に、昼夜共に、トイレでの排泄で、できない部分を支援している。支援内容を記録し、職員全員が共有し、声かけや誘導を行っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排泄チェック表で排便の有無を記入し食事内容、水分量、下剤の調整を行っている。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	入浴日は決まっているが体調や気分などを考慮し時間をずらしている。	入浴を週3回、午前中を基本に支援している。入浴の順番や事前に声かけして確認している。入浴を嫌がる利用者がいても、時間をずらしたり、タイミングを見ての声掛け、無理強いせず、翌日に変更する等の工夫をしている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	夜間ゆっくり休んでもらえるように声掛けなど行い、睡眠状態を主治医にも報告している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	処方録で内容を職員が確認出来る様になっている。必用時は主治医に相談、報告を行っている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	出来る事は少しでもお願いし、気分転換や役割を持ってもらえるような支援をしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>外出を希望される方はほとんどいらっしゃらないが希望があれば職員と一緒に出掛けている。ご家族にも協力をお願いしている。</p>	<p>テラスでの外気浴や声掛けをして庭での散歩をしている。外出の年間計画は初詣や鶴見物・季節の花見・そうめん流し・外食・ドライブ・買い物等の外出を計画している。家族と美容室や外食に出かける利用者もあり、できるだけ出かけられるよう支援している。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>1名お金を持たれているが買い物等の希望はない。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>希望時にご家族に電話を繋いだり本人の書いた手紙を送っている。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>掃除を小まめに行い、過ごしやすいう温度になるように心がけている。</p>	<p>リビングは広く天井が高く窓も多く明るい。換気に配慮し室温等も適度に調節している。リビングからテラスに出て庭の花や畑を眺めて外気浴ができる。外出した時の楽しんでいる写真などが掲示されている。大きなソファもあり、ゆっくりくつろぎながらテレビが見れる。利用者は好きな場所で安心してくつろいでいる。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	共有室では話の合う方で話されたり、休みたい時は自室へ行かされている。		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	自室にはご家族の写真などを飾り見て安心される事がある。	居室にはエアコンとクローゼットがあり、自宅から持ち込まれた整理ダンスやぬいぐるみ・小物・家族写真・遺影などを持ち込み、自分で作った作品も飾り、安心して過ごせるようにしている。	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	玄関からバリアフリーになっておりテラスへも出る事が出来自分の洗濯物を取り込みに行かれる方もいる。		



## V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
		○	4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ全ての家族と
		○	2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
		○	3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
		○	3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない